

平成27年度第2回産業衛生技術部会企画運営委員会 資料および議事録

日時：平成27年8月22日(土) 11時半～13時半

場所：早稲田大学51号館12階環境資源工学科会議室

出席(敬称略)：加藤隆康、中明賢二、原邦夫、野原誠一郎、大西明宏、中村憲司、村田克

- 議事次第
1. 来月の部会主催・共催行事（周南市）について
 2. 学会理事会・部会長会議報告
 3. 来年春の学会における部会行事計画について
 4. 個人ばく露測定に関する委員会報告書について
 5. 次年度事業予算および事業計画について

- 添付資料
1. 前回(4/25)議事録
 2. 全国協議会 運用マニュアル

議題

1. 来月の部会主催・共催行事（周南市）について

平成27年9月18日(金)：第25回産業医・産業看護全国協議会 行事

・シンポジウム2

日時：平成27年9月18日(金) 10:00～12:00

会場：周南市文化会館 第2会場（3階 展示室）

テーマ：受動喫煙の工学的対策

座長：森本 寛訓（川崎医療短期大学）、田口 豊郁（川崎医療福祉大学）

1. 「労働安全衛生法改正による、これからの受動喫煙防止対策」
加藤 革己（厚生労働省 労働基準局安全衛生部 化学物質対策課 環境改善室）
2. 「企業の対策事例」加部 勇（古河電気工業株式会社 人事総務部衛生管理センター）
3. 「喫煙場所設置時の問題点について」黒木 孝一（黒木労働衛生コンサルタント事務所）

平成27年9月19日(土)：産業衛生技術部会 行事

・第21回産業衛生技術専門研修会

日時：平成27年9月19日(土) 9:00～11:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

テーマ：地元企業の労働衛生管理の実際(地元企業の衛生管理者活動報告)

座長：田口豊郁（川崎医療福祉大学）、公文 崇（淳風会環境管理課）

1. 「三井化学（株）岩国大竹工場における労働衛生管理評価の取組み」
河野 亮（三井化学株式会社 岩国大竹工場）
2. 「某金属加工業で生じた有害事象に対する専門的支援の一例」
石井 健二（宇部興産株式会社 総務・人事室 健康管理センター）

・産業衛生技術部会幹事会

日時：平成27年9月19日(土) 12:00～13:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

・第24回産業衛生技術部会大会（産業衛生技術シンポジウム）

日時：平成27年9月19日(土) 13:00～16:00

会場：周南市文化会館（第25回産業医・産業看護全国協議会第4会場）

テーマ：「個人ばく露測定のガイドライン」の報告会 - 化学物質のリスクアセスメントへの活用

座長：村田 克（早稲田大学）

1. 「化学物質のリスクアセスメント」山田 憲一（中央労働災害防止協会）

2. 「個人ばく露測定ガイドラインとリスクアセスメントへの活用」橋本 晴男（東京工業大学）
3. 「個人ばく露測定ガイドラインの技術的な特徴、および測定事例」熊谷 信二（産業医科大学）
4. 「簡易的測定方法の事例、および個人ばく露測定の更なる事例」中原 浩彦（東燃ゼネラル石油）

2. 理事会・部会長会議報告（加藤部会長・学会監事）

- ・ 利益相反に関する委員会が立ち上がっている。技術部会からは委員に入っていない→照会する。
- ・ 来春の学会は、2016年5月24日(火)～27日(金)福島県文化センター他。演題受付は11/16～。
- ・ 産業医・産業看護全国協議会は来秋から「日本産業衛生学会全国協議会」となる。来年の開催は9月8日(木)～10日(土)京都テルサ。
- ・ 全国協議会の運用マニュアルが策定された。
- ・ 四部会合同職場改善セミナー：来月の合同セミナー発表会場で宇土先生、落合先生のこれまでの活動功績を讃え、感謝状を渡す予定。来年からの名称には「四部会合同」を付けず、全国協議会企画運営委員会が従来からの合同セミナーを実施し、これまでの合同セミナー実行委員会のメンバーが有志としてアドバンスコースを実施することになる。
- ・ 部会幹事の選任時期について、学会として当分は定めないことになった。
- ・ 社会医学分野の専門職認定制度について対応が検討されている。
- ・ 7/2現在の学会正会員内訳によると、衛生管理者128名、労働衛生コンサルタント38名、作業環境測定士61名、理工系技術者112名。部会会員数は産業医1103名、産業看護1602名、産業衛生技術407名、産業歯科保健217名。技術部会員数の拡大を検討したい。

3. 来年春の学会（福島）における部会行事計画

専門研修会（司会：宮内）

スマートスーツを用いた農業労働などの負担軽減（北大・田中）→大西

フォーラム（座長：加藤・大西）

除染作業の被曝評価（安衛研）→中村

リフトなどによる介護職場の負担軽減 →野原

職場のメンタルヘルス対策（東大・島津明人）→村田

4. 「個人ばく露測定ガイドライン」の技術部会HP掲載について

提案（橋本委員）：ガイドラインへの門戸を広げて、多くの方に利用していただけるようにしたい。無償でダウンロード可能とし、任意で日本産業衛生学会と技術部会会員への入会または技術部会のメール会員（会費不要）になってもらうよう推奨する。

なおガイドラインは日本産業衛生学会技術部会の所有物であり、技術部会が承認すれば「ハードコピーの無償配布は問題ない」ことを、以前編集委員会および学会事務局・近藤さんに確認済み。Website無償ダウンロードに関しても同様に問題無いと考えるが、念のため確認の予定。

→提案通り進める。

5. 中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）について

次回から「産業衛生技術部会奨励賞」とする。賞状と副賞（ペンなど、部会予算から支出）

<参考>過去の受賞者（敬称略）：平成17年（#1）＝宮内 博幸、平成18年（#2,3）＝篠宮 真樹・山野 優子、平成19年（#4,5）＝大藪 貴子・村田 克、平成20年（#6,7）＝関向 和明・長谷川 紀子、平成21年（#8,9）＝竹内 靖人・中村 亜衣、平成22年（#10,11）＝落合 孝則・對木 博一、平成23年（#12,13）＝今井 常彦・城 憲秀、平成24年（#14,15）＝大西 明宏・進藤 拓、平成25年（#16）＝原 邦夫、平成26年（#17,18）＝中原 浩彦、中村 憲司、平成27年（#19,20）＝片岡 直也、山本 忍

6. 次回（案）

12月19日土曜午後3～5時・浜松町東京會館（なお委員会後に中明賞受賞者を集めて忘年会の予定）

過去の部会大会および専門研修会、産業衛生技術フォーラム（平成24年度～平成26年度）

部会大会

- 第21回「改めて腰痛を考えよう」平24.11/23(金・祝)14-17時 東京工科大 蒲田キャンパス
福祉・医療職場における作業関連性運動器障害の現状と課題=埜田和史(滋賀医大), 腰部負担軽減を目的とした継手付き体幹装具Trunk Solutionの開発と評価=勝平純司(国際医療福祉大), 腰痛に対する新しいエクササイズ=齋藤昭彦(杏林大)
- 第22回「化学物質管理」平25.9/27(金) 14-17時 名古屋国際会議場231会議室
化学物質管理に関する行政の動向=名古屋俊士(早大), リスク管理にもとづく化学物質管理=武田繁夫(武田労衛コンサルタント事務所), 事業場における化学物質管理の実際=片岡直也(豊田自動織機)
- 第23回「化学物質のリスクアセスメントの実際」平26.9/25(木)16-19時 金沢市文化ホール大集会室
改正労働安全衛生法（化学物質に係るリスクアセスメントの義務化）について=増岡宗一郎(厚労省安全衛生部化学物質対策課), コントロールバンディング=山田憲一(中災防), リスクアセスメントにおける簡易測定=村田克(早大)

専門研修会

- 第14回：平24.5/31(木)9-11時 名古屋国際会議場
作業用履物に適した安全靴・プロテクティブスニーカーの基礎=林辰男(シモン), 医療従事者と靴のあり方=笠井一治(ミドリ安全), 転び災害防止と安全靴・作業靴の耐滑性能=永田久雄(労研)
- 第15回：平24.11/24(土) 9時半-11時半 東京工科大 蒲田キャンパス
実用上のガイドとなる個人ばく露測定の方法の検討について=橋本晴男(EMGマーケティング), 有機溶剤職場における胆管癌発症について=熊谷信二(産医大)
- 第16回「個人ばく露測定の作業場での活用について」平25.5/16(木)13-15時 ひめぎんホール別館1階第13会議室
個人ばく露測定に関する近年の国内の動き=山田憲一(中災防), 産業衛生技術部会個人ばく露測定検討委員会の中間報告=橋本晴男(EMGマーケティング), 欧米の実施手法の実際=中原浩彦(EMGマーケティング)
- 第17回「産業現場における呼吸用保護具」(フィットテスト研究会と共催) 平25.9/26(木) 18-20時 名古屋国際会議場436会議室
産業現場における呼吸用保護具=田中茂(十文字学園女子大), 産業現場における呼吸用保護具使用の

- 実際=中原浩彦(EMGマーケティング), 実習=各種呼吸用保護具の着用およびフィットテスト
- 第18回「岡山地元企業の労働衛生管理の実際」平26.5/23(金)10:10-12:10 岡山コンベンションセンター407会議室
造船業の労働衛生管理=岩崎喜久男(岩崎労安コンサルタント事務所), 自動車工業の労働衛生管理=森尾真介(三菱自工水島製作所), 岡山産業保健推進センターが実施した労働衛生調査研究のまとめ=西出忠司(岡山産保支援センター)
- 第19回「職業アレルギー」平26.9/25(木)14-16時 金沢市文化ホール大集会室
職域における感作性物質の分類と代替法=佐藤一博(福井大), 職業性接触皮膚炎=皆本景子(熊大), 職業性喘息=土橋邦生(群馬大)
- 第20回「リスクアセスメント曝露評価としての作業環境測定, 個人曝露測定, 生物学的モニタリングの応用」平27.5/15(金)15:45-17:45 コングレコンベンションセンター（大阪）
作業環境測定の応用=宮内博幸(産業保健協会), 個人曝露測定の応用=佐本一(京都工場保健会), 生物学的モニタリングの応用=城山康(パナソニック健保)

産業衛生技術フォーラム

- 平23.5/20(金) 15-17時 ホテルアジュール竹芝「企業経営リスクとしての産業衛生を考える」=小澤正彦(損害保険ジャパン), 安福慎一(新日鐵), 原邦夫(帝京平成大), 野口和彦(三菱総研)
- 平24.6/2(土)13:40-16時半 名古屋国際会議場「産業衛生技術者の役割と期待」
より合理的な化学物質管理に向けて=半田有通(厚労省), 労働衛生管理における衛生管理者の役割—産業医の立場から—=中元健吾(日本ガイシ), 除染作業者の曝露リスク=村田克(早大)
- 平25.5/17(金)14:30-16:30 ひめぎんホール 3階第6会議室「高齢労働者の転倒災害防止を考える～65歳現役社会を迎えて～」
体力低下に伴う労働災害の予防についての包括的取り組み例の報告～転倒予防・筋骨格系疾患対策・復職支援～=乍智之(JFEスチール), 高齢労働者の転倒災害防止のための身体機能改善プログラム=川越隆(愛知医大, 東海ゴム工業), 転倒災害防止のための高齢労働者の作業管理=岩根幹能(和歌山健康センター), 高齢労働者の転倒災害防止に有効な手段とは=大西明宏(安衛研)

- 平26.5/24(土)15:30-17:30 岡山コンベンションセンター2階 展示ホール「作業環境管理におけるリスクコミュニケーション」

化学物質及び作業環境測定評価結果等の周知に関する法令改正の経緯=名古屋俊士(早大), 事業場における作業環境管理の「見える化」の現状と課題について=田吹光司郎(西日本産業衛生会), 作業環境管理におけるリスクコミュニケーション 産業医の立場から=中元健吾(日本ガイシ)

- 平27.5/16(土)16:30-18:30 ナレッジキャピタルカンファレンスルームC (大阪) 「640物質のリスクアセスメントにどう対応するのか」

化学物質リスクアセスメントの義務化に関する経緯と概況=宮内博幸(産業保健協会), 640物質のリスクアセスメントとコントロールバンディング=原邦夫(帝京大), 個人ばく露測定の方法(産業衛生技術部会のガイドライン)とその活用=橋本晴男(東工大), 簡易的測定方法とその事例、および個人ばく露測定の事例=中原浩彦(東燃ゼネラル石油)

シンポジウム企画

- 平26.5/22(木)16:10-18:10 岡山コンベンションセンター2F レセプションホール「個人ばく露測定の実施のためのガイド (産業衛生技術部会「個人ばく露測定に関する委員会」報告)」

個人ばく露測定に関する委員会」が提言する個人ばく露測定の進め方=山田憲一(中災防), 個人曝露評価における技術的ポイント=熊谷信二(産医大), 本「個人ばく露測定委員会」が提言する個人ばく露測定方法の意義-技術面における特長, および社会制度面での波及効果=橋本晴男(EMGマーケティング)

- 平26.9/27(土)10-12時 金沢市文化ホール2階 大集会室「衛生管理者1名の事業所でもできる有害物管理」

過去の事例から学ぶ=久永直見(愛知学泉大), 作業環境測定結果をどう使うか=田村三樹夫(上越環境科学センター), 化学物質の管理=三浦隆(ボッシュ・レックスロス)